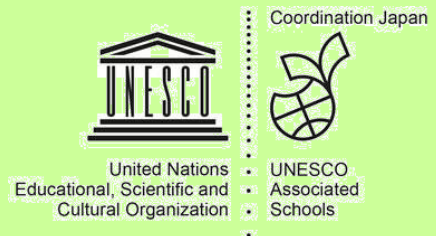


今日よりいいアースへの学び

持続可能な開発のための教育(ESD)と ユネスコスクール



ESD(持続可能な開発のための教育)とは？

ESDは、**E**ducation for **S**ustainable **D**evelopment の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。

環境、貧困、人権、開発といった様々な地球規模の課題について、自分のこととしてとらえ、その解決に向けて自分から行動を起こす力を身につけるための教育です。

国連決議により、平成17年からの10年間を「**国連ESDの10年**」とし、ユネスコ(UNESCO:国際連合教育科学文化機関)を主導機関として、世界的な取組が進められてきました。

平成26年11月には日本において「**ESDに関するユネスコ世界会議**」が開催され、「**あいち・なごや宣言**」が採択されました。

※「ESDに関するユネスコ世界会議」の詳細は裏面を御覧ください。

ESDの概念図

ESDの学習や活動で取り上げるテーマ・内容は必ずしも新しいものではありません。

むしろ、それらをESDという視点から捉え直すことにより、個別分野の取組に、「持続可能な社会の構築」という共通の目的を与え、具体的な活動の展開に明確な方向付けをするものです。



ユネスコスクールとは

ユネスコ憲章に示された**ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を实践する学校**であり、ユネスコが認定する学校です。

現在、世界182の国・地域で10,000校以上のユネスコスクールがあります。日本国内の加盟校数はユネスコ本部へ加盟申請中の学校を含め1044校です(平成28年10月現在)。

◎ユネスコ憲章(抜粋)

第1条 目的及び任務

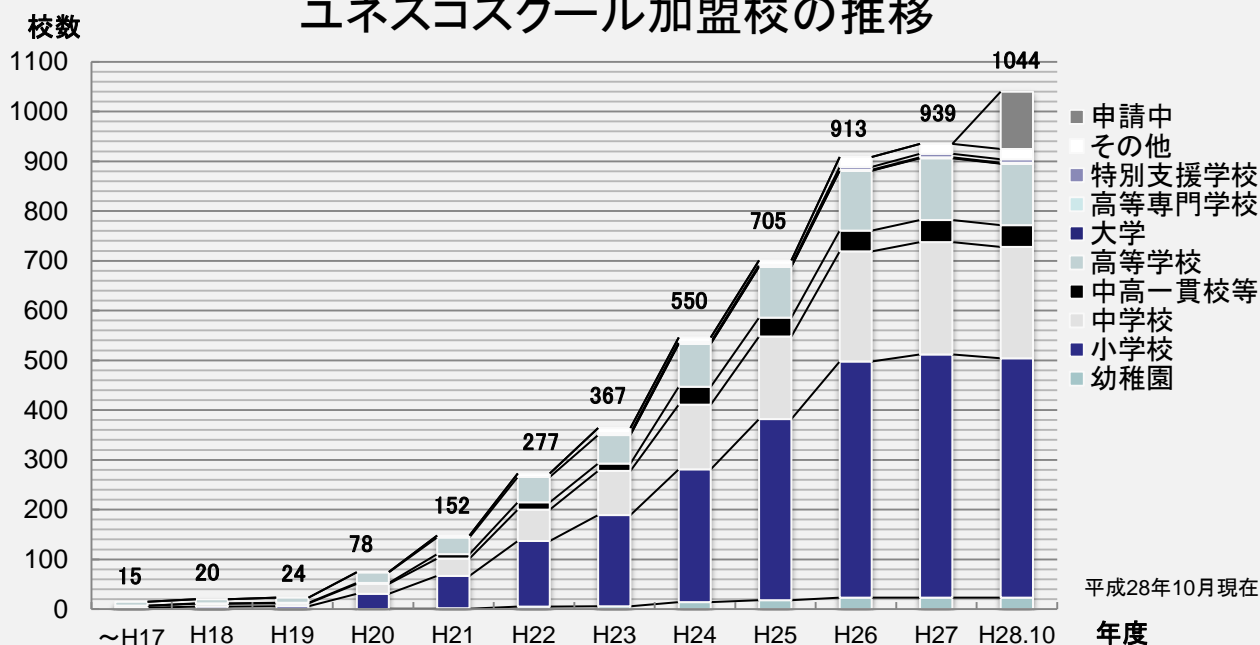
1 この機関の目的は、国際連合憲章が世界の諸人民に対して人種、性、言葉又は宗教の差別なく確認している正義、法の支配、人権及び基本的自由に対する普遍的な尊重を助長するために教育、科学及び文化を通じて諸国民の間の協力を促進することによって、平和及び安全に貢献することである。

ユネスコスクールはESDの推進拠点です

文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、**ユネスコスクールをESDの推進拠点と位置付けて**います。ユネスコスクール加盟校数の増加を図るとともに、その質を確保するため、**ユネスコスクールガイドライン**を策定しました。

ESDの考え方は学習指導要領で示されている「生きる力」という理念に通ずるもので、グローバル人材の育成にも資する重要なものです。我が国の教育の振興に関する施策を定めた第2期教育振興基本計画においても、ESDを推進することが明記されています。

ユネスコスクール加盟校の推移



ユネスコスクールに対する支援

ユネスコスクール事務局

ユネスコスクールの活動を支援するため、ユネスコスクール事務局を設置しています。

(平成28年度日本／ユネスコパートナーシップ事業によりユネスコ・アジア文化センター(ACCU)に委託)

ユネスコスクール公式ウェブサイト

ユネスコスクール事務局が運営し、ESDの優良事例・教材・イベントの紹介などの情報を発信し、取組を支援するための各コンテンツを用意しています。

URL <http://www.unesco-school.mext.go.jp/>

ASPUUnivNet (ユネスコスクール支援大学間ネットワーク)

日本の特色ある取組として、ユネスコスクールの加盟申請手続や活動について助言・支援をしています。

URL <http://esd.okayama-u.ac.jp/ASPUUnivNet/>

加盟大学: 北海道教育大学釧路校、東北大学、宮城教育大学、玉川大学、東海大学教養学部、静岡大学、中部大学、岐阜大学、愛知教育大学、金沢大学、三重大学、奈良教育大学、大阪府立大学、鳴門教育大学、岡山大学、広島大学、福山市立大学、福岡教育大学

ESDにより育みたい力

- 持続可能な開発に関する価値観(人間の尊重、多様性の尊重、非排他性、機会均等、環境の尊重等)
- 体系的な思考力(問題や現象の背景の理解、多面的かつ総合的なものの見方)
- 代替案の思考力(批判力)
- データや情報の分析能力
- コミュニケーション能力
- リーダーシップの向上



ユネスコスクールガイドライン

(平成24年8月20日 日本ユネスコ国内委員会)

ユネスコスクールとして大切なこと

ユネスコスクールの活動には、次のようなことが大切ですので、各学校におかれては、これらの点を念頭において活動いただくことを期待しております。

- ・国内外のユネスコスクール相互間のネットワークを介して、互いに交流相手の良さを認め合い、学び合うこと。
- ・地域の社会教育機関、NPO等との連携などを通じて、開かれたネットワークを築くよう努めること。
- ・校外外における各種研修の充実・活用を図るなど、ユネスコスクールの活動を通じて広く学校外にも働きかけ、我々人類社会が持続的に発展するよう心がけること。
- ・学校経営方針等にユネスコスクールの活動に取り組むことを明確に示し、学校全体で組織的かつ継続的にユネスコスクールの活動に取り組みやすくすること。
- ・ユネスコスクールの活動を自らの学校評価の項目に盛り込み、活動の質の向上に努力すること。
- ・必要に応じ、ASPUUnivNet^[1]加盟大学をはじめとする高等教育機関の支援や協力を得ながら、ユネスコスクールの活動の充実に努めること。

持続発展教育^{*}(ESD)推進拠点として大切なこと

ユネスコスクールが持続発展教育(ESD)推進拠点として発展していくには、次のようなことが大切ですので、各学校におかれては、これらの点を念頭において活動いただくことを期待しております。

- ・持続発展教育(ESD)を通じて育てたい資質や能力を明確にし、自分で、あるいは協働して、問題を見出し解決を図っていく学習の過程を重視した教育課程を編成するよう努めること。
- ・総合的な学習の時間を中心とした教科横断的な指導計画を立てるなど、指導内容を適切に定め、さらに、指導方法の工夫改善に努めること。
- ・持続発展教育(ESD)の推進拠点として、研究・実践に取り組み、その成果を積極的に発信することを通じて、持続発展教育(ESD)の理念の普及に努めること。

^[1] ユネスコスクールのパートナーとして、ユネスコスクールの活動を支援する大学のネットワーク。

持続発展教育(ESD)とは、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育であり、その中には、国際理解、環境、多文化共生、人権、平和、開発、防災などのテーマ・内容が含まれます。従って、持続発展教育(ESD)で取り上げるテーマ・内容は必ずしも新しいものではありません。むしろ、それらを持続発展教育(ESD)という新しい視点から捉え直すことにより、個別分野の取組に、持続可能な社会の構築という共通の目的を与え、具体的な活動の展開に明確な方向付けをするものです。また、それぞれの取組をお互いに結び付けることにより、既存の取組の一層の充実発展を図ることを可能にします。

持続発展教育(ESD)の実施においては、「人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと」や、「他人、社会、自然環境との関係性を認識し、関わり、つながりを尊重できる個人を育むこと」の観点が必要です。持続発展教育(ESD)の理念は、現行の教育振興基本計画(平成20年7月策定)に盛り込まれており、学習指導要領(平成20年、21年公示)で示されている「生きる力」という理念にも通ずるものです。

^{*}「持続発展教育」とはユネスコスクールガイドライン制定時に使用していたESDの訳語です。現在では、「持続可能な開発のための教育」という訳語を使用しています。

持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議

共催: ユネスコ(UNESCO: 国際連合教育科学文化機関)、日本政府

世界153の国・地域から76名の閣僚級を含む政府関係者、国連機関、研究者、学校関係者、各種ステークホルダーのESD実践者等およそ3,000名が参加し、これまでの「国連ESDの10年」を振り返り、今後のESD推進方策について話し合われ、各種宣言が採択されました。

(1)閣僚級会合及び全体のとりまとめ会合(愛知県名古屋市) 平成26年11月10日(月)~12日(水)

(2)ステークホルダーの主たる会合(岡山市)

①ユネスコスクール世界大会 平成26年11月5日(水)~8日(土)

②ユース・コンファレンス 平成26年11月7日(金)

③持続可能な開発のための教育に関する拠点の会議 平成26年11月4日(火)~7日(金)

▶「あいち・なごや宣言」

愛知県名古屋市にて開催された「閣僚級会合及び全体のとりまとめ会合」では、今後各ステークホルダーがESDの取組を更に強化し、そのための行動を起こすことを宣言する「あいち・なごや宣言」が採択されました。「あいち・なごや宣言」では、ユネスコスクールのネットワークを動員して、ESDを推進していくことが謳われています。(http://www.esd-jpnatcom.jp/conference/result/pdf/Aichi-Nagoya_Declaration_ja.pdf)

▶「ESD推進のためのユネスコスクール宣言」(ユネスコスクール岡山宣言)

日本のユネスコスクールとして、今後、地域の人々等との協働、国内外のユネスコスクールとの交流、ユネスコスクールの全国ネットワークをつくること等を宣言するとともに、学校による更なるESDの推進に向け、ユネスコスクールからの提言をまとめたもので、ユネスコスクール世界大会ー第6回ユネスコスクール全国大会ーで採択されました。(http://www.esd-jpnatcom.jp/conference/result/pdf/Aichi-Nagoya_Declaration_school_ja.pdf)

▶「グローバル・アクション・プログラム(GAP)」

世界会議では、「国連ESDの10年」の後継プログラムである「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)」の開始が正式に発表されました。GAPは、①政策的支援、②機関包括的アプローチ、③教育者、④ユース、⑤ローカルコミュニティを今後のESDを推進していく上での5つの優先行動分野としていて、今後はこの5つの優先行動分野に焦点を当てたESDの推進が奨励されています。(http://www.mext.go.jp/unesco/004/1345280.htm)

ESD (持続可能な開発のための教育) 推進の手引(初版)

文部科学省では、学校現場において更にESDが浸透していくことを目標に、「ESD推進の手引」を作成しました。ESDについて知らなかった方もその重要性を理解し、授業に取り入れたいと思っただけのよう、ポイントを簡潔に記載するとともに、QA形式で基礎的な事項をまとめています。(http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2016/09/14/1369326_01.pdf)

ESD広報媒体



- 1) ESD QUEST: ゲームのように楽しくESDを学べるストーリーブックです。
- 2) ESDメッセージソング: 楽しく歌って踊れるメッセージソング。CD及びDVDを作成しています。

※広報媒体を御希望の方は下記までお問合せください。

■お問合せ先

文部科学省国際統括官付(日本ユネスコ国内委員会事務局)

TEL: 03-5253-4111

担当 ユネスコ振興推進係(内線2602)、ユネスコスクール・ナショナルコーディネーター(内線2595)

FAX: 03-6734-3679

e-mail: jpnatcom@mext.go.jp

※ESDの詳細やユネスコスクール申請方法については下記URLをご覧ください。

【ユネスコスクールHP】<http://www.unesco-school.mext.go.jp/>

※ESDの最新情報はこちら

【ESDポータルサイト】<http://www.esd-jpnatcom.mext.go.jp/index.html>

2016年11月作成